

## 令和6年度建設労働災害防止大会開催

高田河川国道事務所工事安全対策協議会は、9月27日、糸魚川市マリンドリーム能生で、「建設労働災害防止大会」を開催しました。

この大会は、毎年9月第4週の北陸地方整備局「建設労働災害防止週間」活動の一環として、発注者・受注者が一堂に会し、工事現場における労働災害の撲滅を図ることを目的に行っているものです。

受注者の工事担当者、安全対策協議会役員、監督支援業務担当技術者、事務所職員など、約90人が参加、安全への意識を再確認するとともに、労働災害のない安全で安心して働ける職場環境の形成を目指して邁進することを確認しました。



## 安全衛生管理を徹底し、関係者一丸となって、 安全確保に取り組む



開会の挨拶で安達会長（高田河川国道事務所長）は、「建設産業は、地域の経済、雇用を支える基幹産業であるとともに、災害発生時には、いち早く現場に駆けつけ、応急対策、復旧作業に取り組むなど、地域の安全・安心を支える重要な役割を担っている。

当事務所では今年に入り、ワイヤーロープに足をすくわれ転倒し骨折する等の労働災害が発生しており、引き続き緊張感を持って安全管理に努めていただきたい。

北陸地方整備局では安全衛生管理体制の整備や労働災害防止対策の具体的な活動の定着を図り、工事現場での安全確保を行うと共に、平成元年より9月第4週を「建設労働災害防止週間」と定め、事故防止のための各種活動を行っている。本大会を契機とし、関係者一丸となって、安全確保への取り組みをお願いしたい。工事条件も厳しい季節となってくるが、これまで以上の気の引き締めと、安全衛生管理の徹底をお願いしたい。」と呼びかけました。

## 来賓ご挨拶

上越労働基準監督署の中山労働基準監督官からは、「全国の労働災害の状況は死亡災害は減少しているが、休業4日以上災害は増加している。上越労働基準監督署管内においては、労働災害の件数は増加傾向であり、降雪前の繁忙期となりますが、無事故・無災害に努めて頂きたい。」と、お話しがありました。



上越労働基準監督署 中山労働基準監督官



糸魚川警察署 柳交通課長

糸魚川警察署の柳交通課長からは、ご挨拶と講話を頂きました。

「作業において事故発生時は、事故の状況把握、再現確認のために速やかに連絡を頂きたい。また、事故防止の観点から、作業の慣れにより作業マニュアルが形骸化する可能性があるため、作業を行う際、毎回確認することが大切と思われます。また、重機、トラック等は車両が大きいので、事故の際、重大な災害につながるため、慎重な運転と安全確認の徹底をお願いしたい。」と話されました。

## 講演「建設業における労働災害防止に向けて」

### 上越労働基準監督署 中山労働基準監督官

上越労働基準監督署の中山労働基準監督官には、ご挨拶に引き続き、「建設業における労働災害防止に向けて」と題してご講演をいただきました。

上越労働基準監督署管内では、令和6年8月末現在において、建設業では28件の労働災害（前年比△1件）、2件の死亡事故（前年比+1件）が発生したとの報告がありました。

講演では、第14次労働災害防止推進計画、建設業における労働災害防止のための具体的取組、対策の推進等について説明されました。



## 安全管理優良受注者表彰の取組事例報告

9月12日に令和6年度の北陸地方整備局安全管理優良受注者表彰があり、北陸地方整備局管内で15者が表彰されました。

高田河川国道事務所安全協議会員からは、「令和4年度関川河道維持掘削外その2工事」を施工した(株)高館組が受賞されました。大会では受賞披露と、安全管理に対する取組事例報告をしていただきました。



受賞披露と取組事例報告をする株式会社高館組の藤岡さん

## 安全十訓、安全宣言を採択

世紀東急工業(株)北陸支店の荻原さんの発声により参加者全員で「安全十訓」を確認しました。その後、(株)谷村建設の廣幡さんから、「一人の被災者も出さないため、本大会を契機として安全管理の原点に立ち返り、労働災害のない安全で安心して働ける職場環境の形成を目指す」と、安全宣言を提案、採択しました。



世紀東急工業(株)北陸支店の荻原さんより安全十訓の発声



(株)谷村建設の廣幡さんが安全宣言の提案

## 閉会挨拶

閉会の挨拶に立った、西田副会長（西田建設（株）代表取締役）より、

「今年は1月1日に発生した地震の対応から始まり、その後通常業務に取り組んできました。建設業界も他の業界同様、労働力不足 高齢化が進む中、ベテランの技術者から若手技術者へ技術の伝承が課題と思っています。

また、建設業の安全衛生管理においては、1番目にフェールプルーフによる危険回避、2番目にフェールセーフによるリスクの最小限化への取組みが今後ますます必要と思われます。

現場はこれから冬に向かって進んでいきますが、現場担当者と本社からのバックアップにより事故ゼロを目指して、春に向けて頑張っていきたい。」と挨拶があり、本大会を終了しました。

